

演劇がうまれるそのすべての瞬間を2日間に凝縮し、あらためて演劇の時間の遊びを考えてみたいと思います。それぞれの演劇が「うまれる」瞬間に立ち会ってみませんか。

演劇が うまれる

劇作家 × 俳優 × 観客

2026年

2.14(土) - 15(日)

参加
無料

ビッグハート出雲
黒のスタジオ
島根県出雲市駅南町1-5

主催：(公財)出雲市芸術文化振興財団、
出雲市、出雲市教育委員会
助成：(一財)地域創造

① 戯曲ワークショップ

2.14(土) 14:30~16:30

書くひとを募集しています。定員10名程度(高校生以上)

② 創作ワークショップ

2.15(日) 10:00~13:00

演るひとを募集しています。定員10名程度(高校生以上)

③ 演劇がうまれる(鑑賞)

2.15(日) 14:00~16:30

観るひとを募集しています。どなたでもご参加いただけます。
終演後にはみんなでふりかえっておしゃべりします。

参加をご希望の方は、

メール又はGoogleフォームでお申込みいただけます。メールの場合は、お名前、年齢、参加ご希望のワークショップ、演劇経験の有無、あればご所属、連絡先(電話番号とメールアドレス)を明記して、
s-kaikan2@local.city.izumo.shimane.jp までお申込みください。
定員になり次第締切ります。※①と②、①と③は同時にお申込みいただけます。

Googleフォーム
での申込みはこちら



関連ワークショップ

俳優・西藤将人の 演劇ワークショップ



対象

公共文化施設、学校、高校演劇部、演劇団体など

費用

費用負担は原則ありません

おおまかな内容

臨機応変に対応しますのでお気軽にご相談ください。

- ① 身体、声の基本的なトレーニング
- ② コミュニケーション
- ③ テキスト(台本)をつかっての上演

※ワークショップ時間は120分程度ですが、あくまで目安です。

※期間中でしたら可能な限り何度でも伺います。

R8.1~2月は新作短編一人芝居(作・永山智行)も上演可能です。

ワークショップの
ご案内はこちら



申込書はこちら



主催：(公財)出雲市芸術文化振興財団、出雲市、出雲市教育委員会

公演

第31回出雲総合芸術文化祭
三重・宮崎・島根を巡る縁結び旅
「この物語」島根公演

高校生
以下
無料

作：永山智行(劇団こふく劇場) 演出：鳴海康平(第七劇場)

出演：西藤将人

木母千尋 菊原真結 三浦真樹(以上、第七劇場)

濱沙果宏 有村香澄 池田孝彰(以上、劇団こふく劇場)

三重 × 宮崎 × 島根、3つの地域のアーティストと公共劇場が連携してつくる、地域発の演劇作品。本企画がめざすのは、地域で生きる高校生たちが、それぞれの形で「ローカル」にこだわり創作を続けるアーティストたちと出会うこと。高校演劇の大会と同じ、60分の上演時間で創作します。今を生きる、全ての人々におくる物語です。

日時

2026年

3.19(木)

高校生招待公演 15:00 開演 14:30 開場

※高校生招待公演は、島根県内の高校演劇部員が対象です。

一般向け公演 19:00 開演 18:30 開場

3.20(金・祝)

一般向け公演 11:00 開演 10:30 開場

会場

大社文化プレイスうらら館 だんだんホール

島根県出雲市大社町杵築南1338-9

入場料 全席自由・税込

一般 2,000円 高校生以下無料

チケット発売日 2026年1月10日(土)

プレイガイド

大社文化プレイスうらら館、出雲市民会館、
ビッグハート出雲、平田文化館 ほか

詳しくはこちら



© 松原豊

主催：(公財)出雲市芸術文化振興財団、出雲市、出雲市教育委員会 協力：島根県高等学校文化連盟演劇専門部 助成：(一財)地域創造

お問合せ・お申込み (公財)出雲市芸術文化振興財団

TEL 0853-21-7580 FAX 0853-21-7085 Mail: s-kaikan2@local.city.izumo.shimane.jp

三重・宮崎・島根を巡る縁結び旅「この物語」関連ワークショップ。

演劇が うまれる

なにもないところから戯曲が生まれ、
そのことばと俳優が出会い、
その俳優のからだを観客が観る。

講師 永山智行（劇団こぶく劇場）
俳優 西藤将人
コーディネーター 林田古都里

劇作家 × 俳優 × 観客

2026年

2.14（土）－15（日）

参加
無料

ビッグハート出雲 黒のスタジオ

島根県出雲市駅南町1-5

書くひと
演るひと
観るひと
募集中！

① 戯曲ワークショップ 劇作家→戯曲 2.14（土）14:30～16:30

それぞれに妄想した「人間のいる風景」を、ほんの短い戯曲の形にまとめてみます。

② 創作ワークショップ 戯曲→俳優 2.15（日）10:00～13:00

うまれたばかりの戯曲のことばと、俳優のみなさんのからだが出会い、何が起こるのか。

③ 演劇がうまれる（鑑賞）俳優→観客 2.15（日）14:00～16:30

そして、ことばを受け取った俳優のからだを、観客のみなさんにご覧いただきます。
島根県在住の俳優・西藤将人による一人芝居の上演や劇作家・永山智行を交えた
フリートークも予定しています。

詳しくは裏面をご覧ください



永山智行（劇作家）

1967年生まれ。劇作家、演出家。宮崎県の三股町立文化会館をフランチャイズとする劇団こぶく劇場代表。2001年『so bad year』でAAF戯曲賞受賞。同作をはじめ、戯曲は劇団外での上演も多く、三浦基（地点）、神里雄大（岡崎藝術座）、中島諒人（鳥の劇場）、五戸真理枝（文学座）らの演出家によって上演されている。2006年から約10年間、宮崎県立芸術劇場演劇ディレクターも務め、九州の俳優を集めてのプロデュース公演「演劇・時空の旅シリーズ」を企画・演出した。2022年4月に初の戯曲集「ロマンズ／いきたひと／猫を探す」（而立書房）を刊行。

西藤将人（俳優）

1983年生まれ、鳥取県米子市出身。島根県雲南市在住。2013年に劇団ハタチ族を旗揚げ。20年に解散するまで、「365日公演」（15年）や「全国47都道府県ワンマンツアー」（18年）など多彩な活動を展開。2023年から一人芝居『森の直前の夜』（作：ベルナール＝マリ・コルテス / 演出：佐藤信）を日本全国で上演。各地で高い評価を得る。同作品は今後レパートリーとして、世界各地での展開を目指している。地元での活動はワークショップ開催やナレーションのほか、朗読の指導など多岐にわたる。



お問合せ・お申込み（公財）出雲市芸術文化振興財団

TEL 0853-21-7580 FAX 0853-21-7085 Mail: s-kaikan2@local.city.izumo.shimane.jp

主 催：（公財）出雲市芸術文化振興財団、出雲市、出雲市教育委員会

助 成：（一財）地域創造